

2026年3月期 第3四半期 決算概要

アキレス株式会社 (コード番号：5142 東証プライム市場)

2026年2月9日

目次

Agenda

1. 2026年3月期 第3四半期 業績
2. 2026年3月期 業績予想

1. 2026年3月期 第3四半期 業績

1. 2026年3月期 第3四半期 業績 – 連結損益計算書

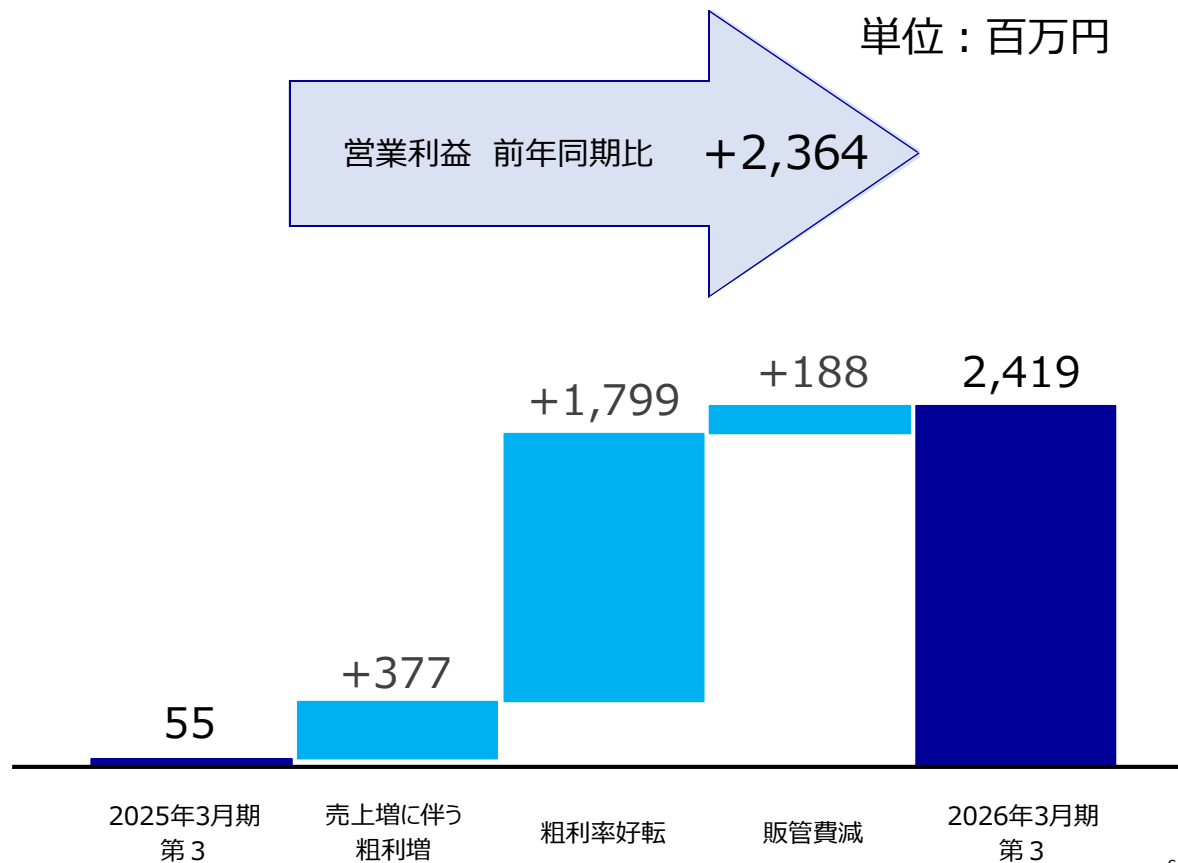


- 売上高は、シューズ及び車輻資材が苦戦したものの、フィルムのライフサイエンス分野とエレクトロニクス分野向け、工業資材の半導体ウエハー搬送用及び製造工程用の部材が好調に推移し増収
- 営業利益は、製造現場における一層の原価低減活動や全社的な経費抑制の継続的な取り組み、価格改定の推進等に努めたことにより大幅増益
- 経常利益は、為替差益447百万円や受取配当金144百万円等を計上したことにより大幅増益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社防災事業における固定資産の減損損失905百万円を計上したことにより減益

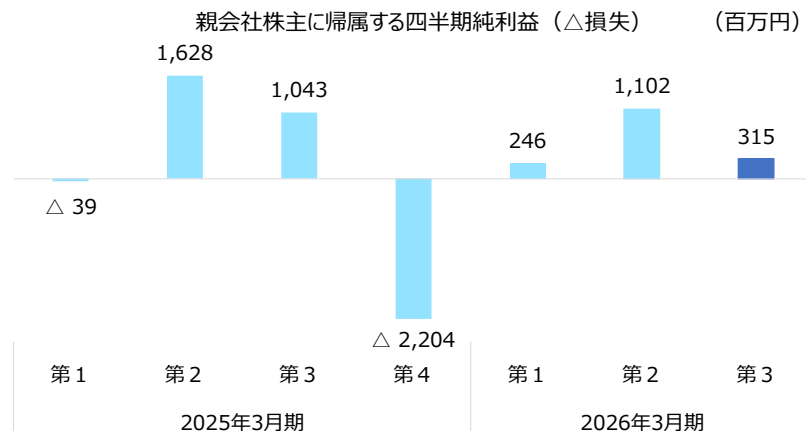
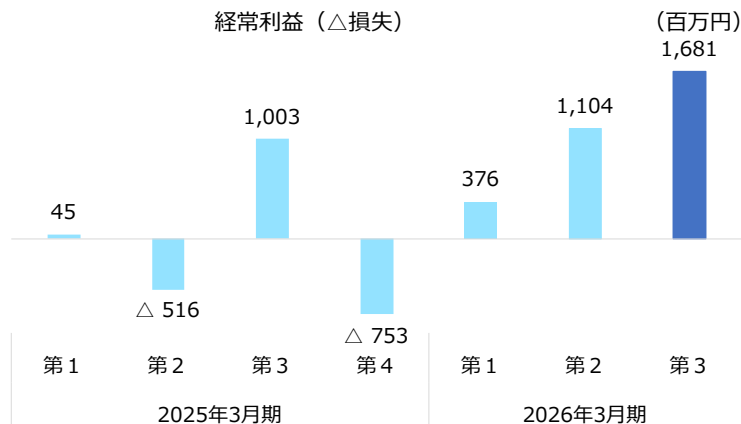
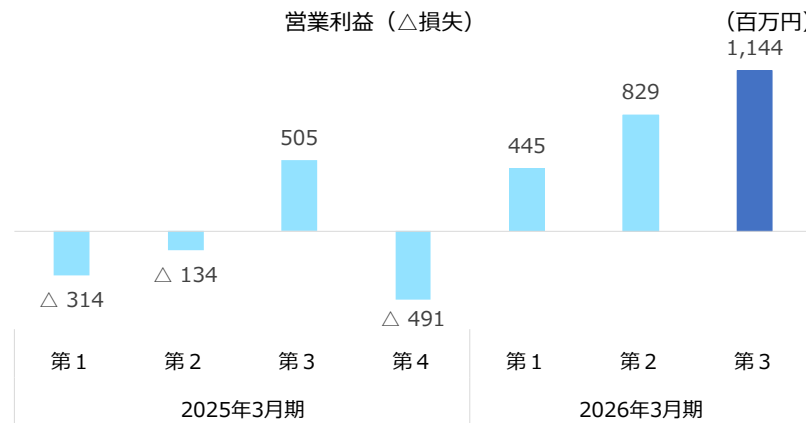
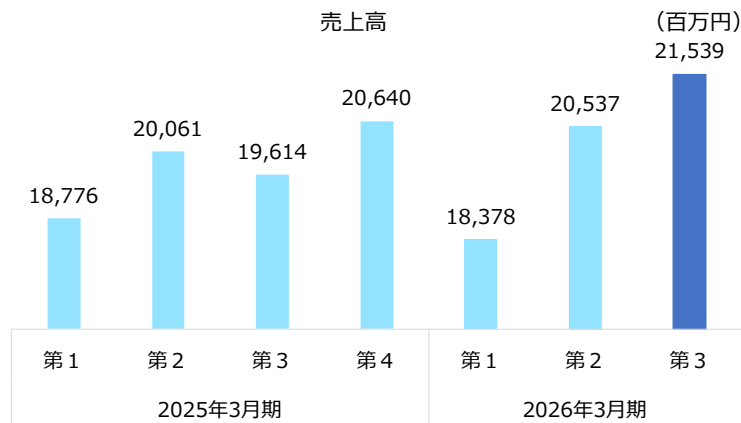
(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	第3	売上比	第3	売上比	増減額	増減率
売上高	58,452	–	60,454	–	2,001	3.4%
売上総利益	11,012	18.8%	13,188	21.8%	2,175	19.8%
販売費及び一般管理費	10,956	18.7%	10,768	17.8%	△ 188	△1.7%
営業利益	55	0.1%	2,419	4.0%	2,364	–
経常利益	532	0.9%	3,161	5.2%	2,629	493.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,632	4.5%	1,664	2.8%	△ 967	△36.8%
1株当たり 四半期純利益 (円)	187.56		121.80		△65.76	

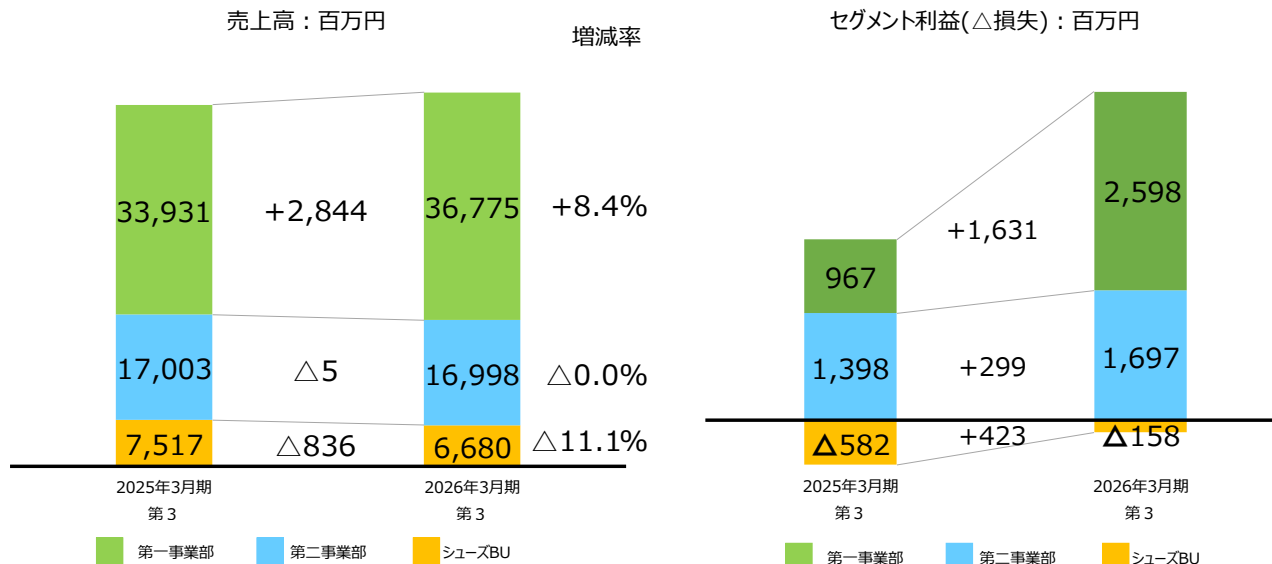
1. 2026年3月期 第3四半期 業績 - 営業利益の増減分析



1. 2026年3月期 第3四半期 業績 – 四半期別推移



1. 2026年3月期 第3四半期 業績 – セグメント情報



- 第一事業部は、車輛資材とウレタンの自動車向けが苦戦したものの、フィルムのライフサイエンス分野とエレクトロニクス分野向けや工業資材の半導体ウエハー搬送用及び製造工程用の部材が伸長し増収
- 第二事業部は、断熱資材のボード製品等が堅調に推移し、建装資材が販売価格の改定等により売上増となったものの、防災対策商品が国内市場の伸び悩みにより、全体としては横ばい
- シューズBUは、主力ブランドにおいて、機能性を追求した新製品投入並びに価格改定を実施したものの、物価上昇による消費環境の悪化等を受け減収

- 第一事業部は、フィルム、工業資材の増収による粗利増や製造現場における一層の原価低減活動等により大幅増益
- 第二事業部は、断熱資材、建装資材の増収による粗利増等により増益
- シューズBUは、コスト環境の変化に対応した価格改定や一層のコストダウン活動に努めたことにより損失額が縮小

1. 2026年3月期 第3四半期 業績 – 連結貸借対照表



(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期 第3	前期末比 増減
流動資産	45,720	47,411	1,691
有形固定資産	20,244	18,761	△1,483
無形固定資産	274	275	1
投資その他の資産	13,266	13,944	678
資産合計	79,504	80,393	888
流動負債	29,161	29,046	△115
固定負債	11,006	11,289	283
負債合計	40,168	40,336	167
純資産	39,336	40,056	720
負債・純資産合計	79,504	80,393	888
自己資本比率	49.5%	49.8%	0.3%
一株当たり純資産(円)	2,878.18	2,931.09	52.91

増減の主な内訳

- ・ 売上債権 1,634
- ・ 棚卸資産 517
- ・ その他流動資産 △ 118

- ・ 建物及び構築物 △ 992
- ・ 機械装置及び運搬具 △ 388

- ・ 投資有価証券 858
- ・ 退職給付に係る資産 △ 145

- ・ 利益剰余金 1,391
- ・ その他有価証券評価差額金 675
- ・ 為替換算調整勘定 △ 1,043

2. 2026年3月期 業績予想

2. 2026年3月期 業績予想 – 11月12日公表値から修正

- 売上高は、フィルムのライフサイエンス分野や工業資材の半導体関連分野を中心に伸長が続くと想定し、前回予想を据え置き
- 営業利益、経常利益は、原材料価格・エネルギーコストの影響や米国の関税政策の影響、為替レート的大幅な変動など、先行き不透明な状況が継続することが見込まれるが、2026年3月期第3四半期の業績等を踏まえて、前回予想を上回る見通し
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、2026年3月期第3四半期での防災事業における固定資産の減損損失計上により、前回予想を据え置き

(単位：百万円)

	2026年3月期 前回予想 (11/12)	修正額	2026年3月期 今回予想 (2/9)
売上高	81,000	0	81,000
営業利益（△損失）	1,800	500	2,300
経常利益（△損失）	1,750	800	2,550
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,450	0	1,450

配当金

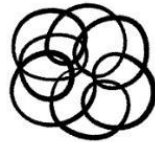
30円
(期末)

30円
(期末)

2025年3月期 実績	前期比 増減額
79,093	1,906
△436	2,736
△220	2,770
427	1,022

20円
(期末)

モヤッと を スカッと に



新しいアキレスが！

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

＜お問い合わせ＞

アキレス株式会社 IR・経営企画本部

<https://www.achilles.jp/contact/iri/>